

各位

2022年9月
一般財団法人 日本建築総合試験所
試験研究センター 品質保証室

校正料金の改定のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は当法人の業務につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、品質保証室が実施しております校正業務の校正料金を、2022年10月1日より改定する運びとなりましたことを、謹んでご案内申し上げます。

品質保証室が実施する校正につきましては、20年以上にわたり校正料金を据え置いてまいりましたが、標準器の維持費用および消耗品の増額などの諸般の事情から、今後も校正品質を維持・向上させるために、やむなく校正の値上げを決断させていただいた次第です。

各位には多大なるご迷惑をお掛けすることになりますが、何卒ご理解いただくとともに、今後とも変わらぬご利用を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 校正料金改定日：2022年10月1日ご依頼分より
- 改正料金：別添料金表による
- 問合せ先：(一財)日本建築総合試験所 試験研究センター 品質保証室

TEL 06-6834-7916

計測器の校正料金表

2022年10月

(1) 力試験機【JCSS校正】(圧縮試験機・万能試験機〔圧縮力のみ〕) (円/台)

最大秤量の範囲	1レンジ	2レンジ	3レンジ	4レンジ	5レンジ	6レンジ
300kN 以下	93,170	105,270	117,370	129,470	141,570	153,670
300kN を超え 1000kN 以下	101,640	113,740	125,840	137,940	150,040	162,140
1000kN を超え 3000kN 以下	110,110	122,210	134,310	146,410	158,510	170,610

(1) 上記料金は、1レンジ当たり5箇所の測定点で校正を実施した料金です。

(2) はかり【JCSS校正】

校正品目	種類	測定範囲	校正料金 (円)
電子天秤	電子式非自動はかり	1kg 以下	24,200
		1kg を超え 20kg 以下	26,620
		20kg を超え 100kg 以下	30,250

(1) 上記料金は、電子天秤の機構が単目量又は多目量の場合の料金です。なお、複目量の場合は、上記料金に計量範囲が1つ増える毎に下記の料金を加算した校正料金を申し受けます。

機 構 (複目量)	測定範囲		
	1kg 以下	1kg を超え 20kg 以下	20kg を超え 100kg 以下
加算校正料金(円)	9,020	10,230	11,440

- 校正の依頼について ———
- (1) これら料金には消費税等(10%)は含まれています。
 - (2) 特殊な構造あるいは特別な校正を要する校正料金は、別途見積りを致します。
 - (3) 校正終了後、校正証明書を1部発行致します。
 - (4) 出張校正の場合は、上記校正料金の他、出張に係る費用を別途申し受けます。

(3) ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ【JCSS校正】

校正品目	種類	測定範囲	校正料金 (円)
ノギス	CM形ノギス M形ノギス	300mm 以下	9,680
		300mm を超え 600mm 以下	11,440
マイクロメータ	外側マイクロメータ	25mm 以下	11,440
ダイヤルゲージ	アナログ (1目盛; 0.01mm)	25mm 以下	15,840

(1) 上記料金は、校正をノギスは4箇所以内、マイクロメータは5箇所以内、ダイヤルゲージはJIS B 7503(指示誤差)の測定点で実施した料金です。なお、測定点を増加する場合は、1箇所毎に別途校正料金の10%を申し受けます。

(4) 出張料金など

項 目	単 位	料 金 (円)	
出張料金	出張移動費 (経費を含む)	当所(大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号)より校正場所までの移動時間に対して下記の料金を申し受けます。 1人/1時間	2,420
	出張交通費	当所より校正場所までの移動距離(km)に対して下記の料金を乗じた金額を申し受けます。 ・移動距離は「駅すばあとソフト」を参照。 ・高速道路, 有料道路の料金は実費となります。	110 円/km
	宿 泊 費	1人/1泊	12,100
時間外料金	校正を休日に実施する場合は、別途、校正料金及び出張移動費の合計金額の10%を申し受けます。 休日(土曜日, 日曜日, 祝祭日)		
校 正 証 明 書	再発行 1部 ・基本料金 ・1枚につき	2,200 100	
送料など	宅配等による荷送は、送料のご負担をお願い致します。また、当所よりの宅配等による返送は、送料雑費として2000円程度を申し受けます。		

一般財団法人 日本建築総合試験所	TEL: 06-6872-0391 (代表)	
品質保証室	TEL: 06-6834-7916 (直通)	
	FAX: 06-6834-5658	
担当者; 岡田, 田中	E-mail: ca/17025@gbrc.or.jp	

温度計の校正業務案内

◆◆トレーサビリティ体系図付きの校正証明書を発行します◆◆

一般財団法人 日本建築総合試験所（GBRC）では、生コンの空気量測定器等の点検に用いられる温度計の校正業務を開始致します。校正では同温度計の器差を確認します。その校正結果は、新JIS認証で要求する同温度計に対する測定トレーサビリティを確保することができます。

校正業務内容

◎対象機器

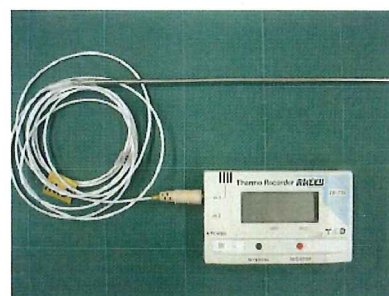
■ガラス製棒温度計

- 感温液の種類：アルコール、水銀
- 寸法：φ8mm×400mm 以下



■抵抗温度計

- センサの形状：棒状タイプ
- 寸法：φ8mm×250mm 以下



◎校正方法

- 校正方法：温度計校正装置（JCSS校正証明書付き）を使用した校正
校正範囲：10℃～30℃
校正点：15、20、25℃（通常の校正点）
（校正点は、5℃間隔で校正が可能です。）
- 適用文書：当所校正実施手順書「CP-Z04」による。

◎校正料金

- 5,390円/1台（通常の校正点；15、20、25℃の3点）
 - ・校正点を増加する場合は、1点毎に別途校正料金を660円申し受けます。
 - ・別途、返送料を申し受けます。
- (1) 上記料金には、消費税等（10%）は含まれています。
(2) 校正終了後、校正証明書及びトレーサビリティ体系図を1部発行致します。

◎お問い合わせ先

一般財団法人日本建築総合試験所
品質保証室

担当者：岡田，田中

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号
電話：06-6872-0391（代表）
06-6834-7916（直通）
FAX：06-6834-5658
URL：https://www.gbrc.or.jp
E-mail：cal17025@gbrc.or.jp

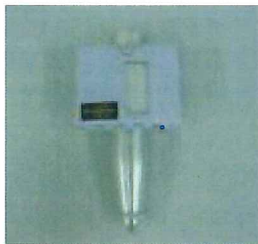
リバウンドハンマー及びテストアンビルの検定業務案内

一般財団法人 日本建築総合試験所（GBRC）では、普通コンクリートの反発度をリバウンドハンマーによって測定する方法を定めたJIS A 1155「コンクリートの反発度の測定方法」が制定されることを受け、同測定に使用されるリバウンドハンマー及びリバウンドハンマーの点検等に用いられるテストアンビルの検定業務を始めました。検定では使用範囲域の直線性及び打撃角度による補正值を確認します。検定結果によりリバウンドハンマー固有の特性を把握し、適正な反発度の測定が可能となります。

検定業務内容

◎対象機器

■リバウンドハンマー



■テストアンビル



◎検定方法

- リバウンドハンマー：合意された標準にトレーサブルなテストアンビルを使用した検定
- テストアンビル：合意された標準にトレーサブルなリバウンドハンマーを使用した検定
- 適用文書：当所手順書「CP-Z01 リバウンドハンマー及びテストアンビルの検定手順書」

◎検定料金

- リバウンドハンマー：16,940円／1台
- テストアンビル：8,470円／1台

- (1) 上記料金には、消費税等（10%）は含まれています。
- (2) 特別な検定を要する場合の検定料金は、別途見積り致します。
- (3) 検定終了後、検定報告書及びトレーサビリティ体系図を1部発行致します。

◎お問い合わせ先

一般財団法人 日本建築総合試験所
品質保証室

担当者：岡田，田中

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号
電話：06-6872-0391（代表）
06-6834-7916（直通）
FAX：06-6834-5658
URL：https://www.gbrc.or.jp
E-mail：cal17025@gbrc.or.jp